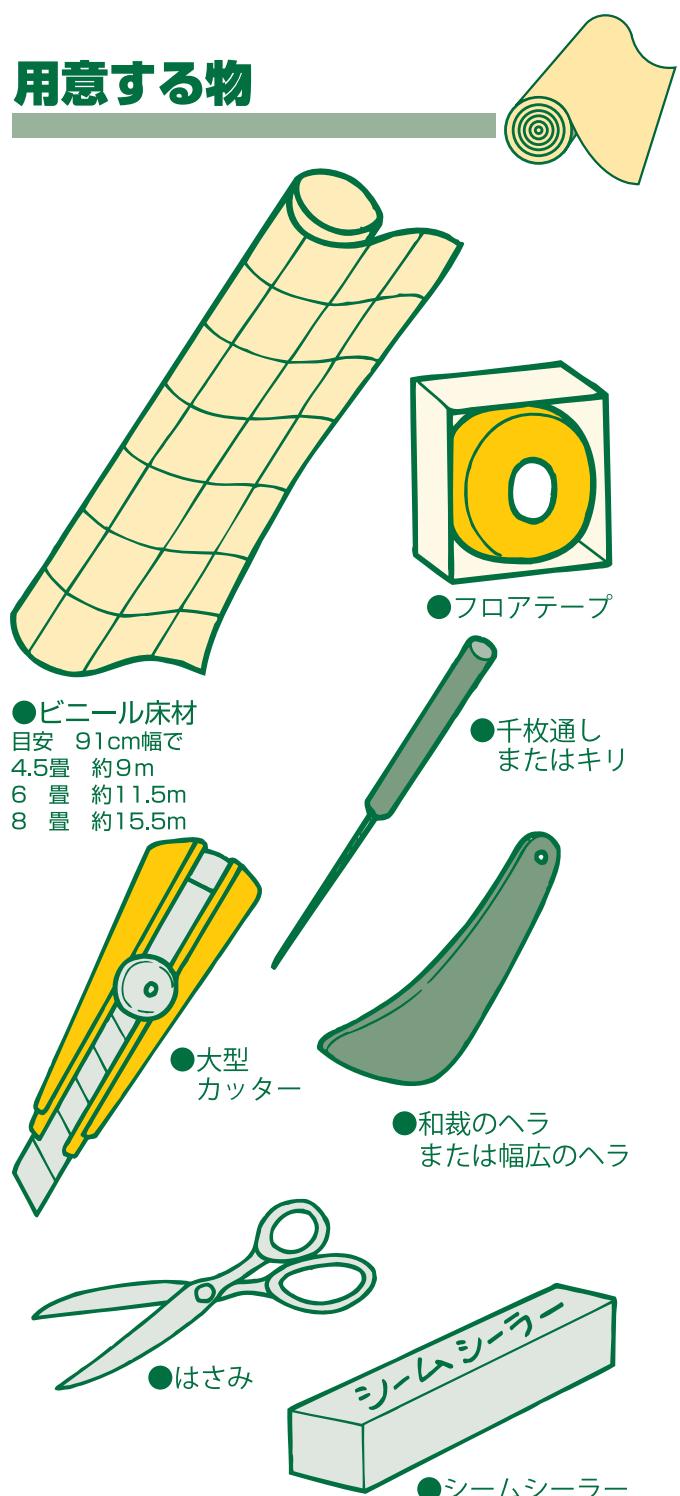


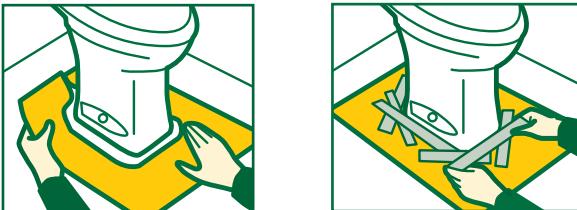
## 用意する物



## ここがポイント!

## 便器のまわりの敷き方

- ①便器の型紙を作ります。  
便器の大きさの穴を開けた紙  
をはめこみ、そのすき間をテー  
ブで埋めていき、はします。
- ②便器の穴の部分をくり  
ぬきます。  
型紙を床材の上に乗せ、テープ  
でずれないように止めてから切り  
抜き、便器の後側に切りこみを  
入れて、床材をはめこみます。



後は同じですが、カーペットテープは周囲と合わせ目に貼るだけ  
でいいでしょう。最後に便器取り付け部分と合わせ目にシーリング  
剤を塗っておきましょう。



(社)日本DIY協会認定DIYアドバイザ  
ーが、ご質問にお答えいたします。  
お気軽にお声をおかけ下さい。

## サービスのご案内



配達・ペルカン便 切り売り商品 修 理



返品・交換 表札・額の受注 スペアキーづくり

●クレジットもご利用になれます。



制作発行／株式会社セキチュー 販売促進部  
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1  
TEL.027-345-1111(大代表)

©無断転載は禁止します

## クッションフロアの敷き込み方

自分でやってみよう!

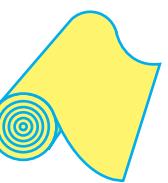
**Hセキチュー HOW TO D.I.Y**



台所や洗面所、トイレの床……。  
よく水がかかって汚れやすいところです。そんなところにはク  
ッションフロアを敷きましょう。雰囲気が驚くほど明るく変わ  
るだけでなく、水や調味料などをこぼしてしまっても、雑巾で拭  
くだけできれいになります。Pタイルや木製の床の上に直に貼  
れるので、誰でも簡単にできます。また、賃貸住宅では、出るときにはがしていけば、床が借りたときのまま返せます。

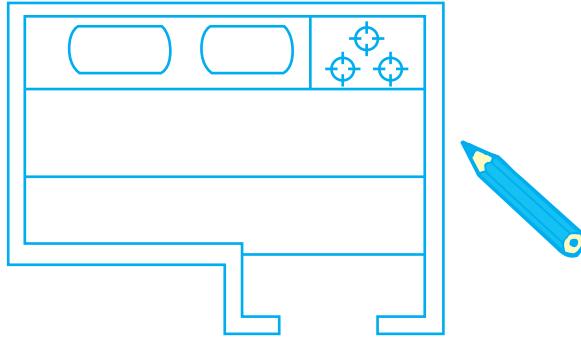
**Do it Yourself & Save**

# クッションフロアの敷き方



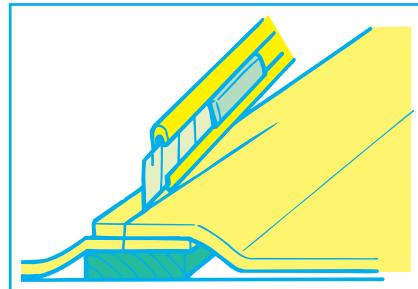
## 1 見取図を作ります。

寸法と床材を貼る方向、枚数を見取図に記入しておきましょう。店頭の係員がそれを見て必要な枚数を計算してくれます。買う数量は必要m数+1柄の長さ分（柄合わせで必要になります）



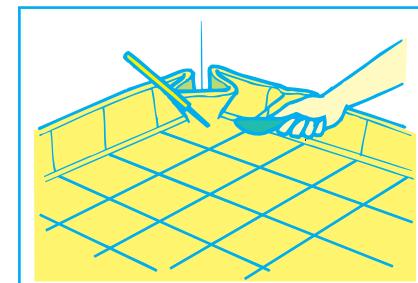
## 5 2枚目からは柄合わせが必要です。

柄が合うように2枚目の床材を置き、両端に5cmぐらいの余分があるようにして荒切りします。そして柄がきちんと合うようにして1枚目に2cmぐらい重ねて敷き、ガムテープでところどころ仮止めしておき、中央のテープのはくり紙をはがして固定します。



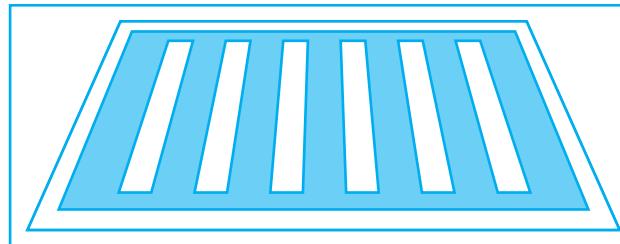
## 8 角の部分を決めこみます。

後は同じ手順で貼り進めていってください。そして最後の角の部分は、角に床材を押しつけてその中心点に錐か千枚通しで穴をあけ、はさみで切りこみを入れて壁によくなじませてから余分な部分を切り取ってください。このやり方は太い柱などが出っ張っていたり、部屋がかぎ形になっているときにも応用できます。



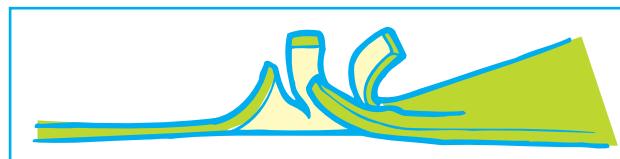
## 2 フロアテープを貼ります。

まず壁ぎわ四方にフロアテープを貼り、次に床材を貼る位置の中央に貼ります。これはズレ防止用で、両端は壁から50cmぐらいのところまで貼っておきます。貼ったテープは上ののはくり紙をまだはがさないでおきましょう。



## 6 つぎ目を切れます。

つぎ目の下に板切れを敷いて（下になっている床を傷めないためです）、重ねた床材の中央を2枚を一度にカッターで力をいれて切っていきます。そして2枚目の端と一枚目の端を取り除くと一枚目と2枚目の床材のつぎ目はピッタリと合うようになります。そして2枚目の壁ぎわの余分になっている部分を一枚目と同様にして切れます。

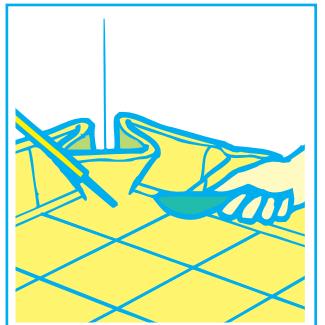


## 3 1枚目を貼ります。

10cmぐらい長めに床材を荒切りしておき、1枚目を長手の方向に、両端がそれぞれ5cm余るようにして置き、壁にピッタリとつけてから中央のテープのはくり紙をはがして固定します。

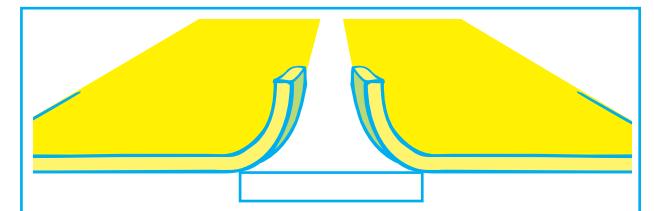
## 4 壁ぎわを処理します。

和裁のヘラのようなものを利用して壁ぎわの余分の床材を力をいれて決めこみ、幅広のヘラをグッと押しつけながらカッターで切り取っていきます。



## 7 つぎ目にフロアテープを貼って固定します。

床材のつぎ目を中心にしてフロアテープを貼り、はくり紙をはがしながら一枚目の床材の方を貼り、次に2枚目のほうも貼ってつぎ目を固定します。



## 9 つぎ目をふさぎます。

全部貼り終えたら、壁ぎわのフロアテープのはくり紙をはがして四方を貼りつけます。そして最後につぎ目にシームシーラーを塗り、つぎ目から水が浸みこまないようにしておきます。めくれ上がりを防ぐ効果もあります。

